



# さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校  
《校長室だより》  
発行：校長 寺田 好江  
令和2年度 第18号  
令和2年12月11日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

## 地域教育力を生かした命の授業！

12月9日（木）5年生が「命を守る授業」に取り組みました。6年前の平成27年度から、毎年5年生で行っている授業です。当時本校の保護者であった平舘宏美さん（養護教諭）が参加している「PUSHプロジェクト」の教材を使って、救命救急に必要な胸骨圧迫とAEDの大切さを学びました。

体育館に5年生全員が集まって、胸骨圧迫とAEDのためのトレーニングキット「あっぱくん」を一人一つ使用して体験しました。

突然の心停止などで命を落としてしまう人を救う方法をたくさんの方が学んだり、体験したりして救える命があるというお話から、胸骨圧迫とAEDの大切さを教えていただきました。

1. 声をかけて意識の確認・呼吸の確認
2. 周りに119番通報とAEDを持ってくるよう頼む
3. 救急車が到着するまで胸骨圧迫を続ける
4. AEDが届いたらAEDを使用する

映像の中のキャラクターと一緒に全員が体験しました。

子供たちが、体験と同じような場面に遭遇してほしいことはありませんが、大切なことは周りの人に知らせて、できる事をする事です。平舘先生からは、みんなが真剣に話を聞いて、一生懸命に体験しようとする新木戸小の子供たちの姿が素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。今年度はコロナの関係でできませんでしたが、6年生では消防署の救命体験も行っていきたいと思っています。



- \*心臓突然死で毎年7万人もの人が命を落としていることを知って、AEDを使って助かる命を救いたいと思った。
- \*心臓マッサージを1分間続けることは意外と大変だった。
- \*マンションの下にAEDがあることは知っていたけれど、今まで使い方がわからなかった。今日学習したので何かあった時にいかしていきたいと思った。
- \*目の前に人が倒れていたら、周りの人に声をかけて、勇気を出してAEDや心臓マッサージをやってみようと思った。
- \*AEDがどんな機械かよくわかっていなかったけれど、体験を通してよくわかった。
- \*はじめは心臓マッサージは簡単そうに見えたけれど、やってみると大変だった。
- \*体験をして、自分たちでも命が救えることが分かった。勇気を出してやってみようと思った。
- \*「胸骨圧迫」等知らない単語が出てきて勉強になった。これからそういう事があったら、習ったことを使っていきたい。